

令和4年度
羽ばたけつばくろ
応援事業



活 動 報 告 書

燕市教育委員会

～小学生から20歳までのみなさんの『夢』を募集します～ 羽ばたけつばくろ応援事業

燕市では、若者の主体的な活動を応援する、「羽ばたけつばくろ応援事業」を実施しています。

対象は、「燕市に住所を有する高校生から20歳までの個人」または「燕市に住所を有する小学生から20歳までの者が代表となる団体・グループ」とし、将来を担う人材の育成を目指します。

若者が将来なりたい自分を設計し、実現するための自己啓発、体験活動、学習、研究、視察などの活動や、地域で取り組むイベント、地域活動など社会参画事業の企画を募集し、個人は10万円、団体は25万円を限度にして補助を行います。

若者たちの「達成したい目標」、「叶えたい夢」、「住んでいるまちをもっとよくしたい」の実現に向け一歩踏み出すきっかけづくりを応援していきます！

なお、本報告書は令和5年2月11日（土）に開催した「羽ばたけつばくろ応援事業成果報告会」における3団体の成果報告の概要を取りまとめたものです。



糸半(いとはん)プロジェクト
 ～私たちのまち「小池」の魅力発信～



【団体名】小池中学校生徒会
 【代表者名】長谷川 宙生

<p>活動の目標</p>	<p>平成 27 年度より先輩方がスタートさせた糸半プロジェクトの名称に込められた思いを引き継ぎ、中学生の私たちが地域の一員としてできることを地域の皆さんと一緒に構想しながら取り組む。 これまでの地域貢献活動に加えて、今年度のテーマの下で新たな活動を創造する。</p>
<p>活動の内容</p>	<p>今年度は、これまでの地域貢献活動に加えて、次の2つの視点で活動した。 ①地元企業とのコラボレーションで燕の魅力を発信できるベンチを制作 ・(株)アベキンと打ち合わせを重ねデザインを検討 ・完成したベンチを設置する燕市交通公園の清掃ボランティアを実施 など ②地元との共通テーマ「防災」と「福祉」から、誰もが安心して住めるまちづくり ・地域の方とのワークショップ ・認知症サポーター養成講座の受講 ・防災学習の実施 など 活動の様子を糸半新聞と冊子にまとめて、地域に情報発信を行った。</p>
<p>活動の成果</p>	<p>昨年度からスタートした企業とのコラボレーションは「燕の魅力を世界へ」という私たちの思いを表現したすてきなベンチとして完成させることができました。 「防災」と「福祉」について、地域の方と一緒に活動し、中学生として何ができるかを考えることができた。中学生として、地域の一員として、取組の様子や考えたことを糸半新聞と冊子で地域に情報発信することができた。</p>
<p>これからの目標</p>	<p>これからも地域の皆さんと一緒に「防災」と「福祉」について取り組み、誰にとっても安心して暮らせるまちづくりに貢献していく。 完成したベンチは、春になり交通公園が開園したら設置する。ぜひ、多くの皆さんに利用していただきたい。</p>

「国上山の植物と鳥」の作成



【団体名】燕中等教育学校
サイエンス部
【代表者名】長谷川 陽

<p>活動の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●国上山の動植物を調べることで地元の豊かさを知る。 ●パンフレットを作成し、燕市の小中学校の学習に役立ててもらおう。
<p>活動の内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①国上山でフィールドワークを行い、動植物を探す。 ②フィールドワークで撮影した動植物の写真をもとに、インターネットや辞書、図鑑を使って調べる。 ③部員で意見を出し合いながら原稿を作成し、パンフレットにまとめる。
<p>活動の成果</p>	<p>パンフレットの原稿は、より良いものにするため現在作成だが、今年度中に1000部印刷し、燕市の小中学校や道の駅、図書館に配布して活用してもらいたい。</p> <p>国上山でフィールドワークを行ったことで、季節ごとの動植物の移り変わりが知ることができ、自分たちの住む地域について、様々な視点で見ることができた。</p> <p>パンフレットの作成においては、部員で役割分担をして協力して作成することができた。</p> <p>ものづくりに興味があったので、今回の取組は有意義であった。今後の大学進学に活かしたい。</p>
<p>これからの目標</p>	<p>昨年度、羽ばたけつばくろ応援事業にて作成した第一弾のパンフレット「国上山の植物」と同様に、燕市内の小中学校と中学校、道の駅、図書館などに配布し、学習に役立ててもらいたいと考えている。</p> <p>今後は、国上山フィールドワークを継続し、国上山に関する知識をさらに深めたい。また、作成したパンフレットをもとに、燕市の小中学校への出前授業を実施したいと考えている。</p>

「未来の燕宣言」～深めよう！広げよう！燕愛！



【団体名】燕東小学校 6学年

【代表者名】沢津橋 愛奈

活動の目標	「ふるさと燕」への愛着と誇りを一層深め、「ふるさと燕」の将来を担うのは自分自身だという意識を育てる。
活動の内容	<p>①修学旅行訪れた佐渡市立加茂小学校の6年生と交流する。</p> <p>②地域コーディネーターの方々の協力のもと、燕 SPIRITS オリジナルCM を制作。また、オリジナルチラシを制作。</p> <p>③燕ものづくり缶バッジを作り、燕東小学校創立 150 周年のお祝いの品として、全校児童などの学校関係者や地域の方へ配付。</p>
活動の成果	<p>●佐渡市立加茂小学校との交流を通して 燕市について知識のない人に燕市のものづくりの技術力の高さや職人さんの熱い思いを分かりやすく PR するのは思っていたよりも難しく、表現の仕方に悩んだ場面もあった。地域の中では通じる言葉でも、市外の人には一から説明しなくてはならないことに気づき、自分たちのまちのことを客観的に見つめ直すことが必要で、調べ直していくうちに新たな燕市の魅力に気付くこともできた。</p> <p>●PR 動画、チラシ制作を通して 「どうすれば伝わるか」ということを改めて見直すことができた。決められた時間や限られたスペースの中で、調べたことを分かりやすく効果的に伝えるスキルが身についた。見る人や受け取る人など相手の立場に立って考える機会となった。</p> <p>●缶バッジ制作を通して 缶バッジのデザイン企画するところから始まり、完成品のお届けまで、ものづくりの一連の流れを体験することができた。「誰に向けてどう作るのか」を考えてデザインするところに時間がかかったが、「相手を思い、心を込めて作り、品物を送り出す」というものづくりにおいて大切にされていることの一部を感じることができた。また、缶バッジのデザインを見て、「小さい中にも思いが込められている」という声を聞き、自分たちの燕愛が伝わってきた喜びを感じることができた。</p>
これからの目標	<p>活動のまとめとして、自分の夢や好きなことと未来の燕をつなげ、未来の燕市を創るためにどんなことを頑張るか、という決意を示した「燕宣言」を一人一人が作成し、タイムカプセルに入れる。</p> <p>今までに学んだり体感したりしたことを将来のまちづくりに活かしていきたい。</p>

●審査委員長 長岡技術科学大学大学院 伊藤 敦美 准教授による講評



6月に発表していただいた皆さんの計画を復習しながら今日の報告会をとても楽しみにしていました。想像以上に皆さんの成長ぶりが素晴らしく、「羽ばたけつばくろ応援事業」を通して、皆さんが色々な経験をしたということを実感しました。

各団体・個人への講評

【小池中学校生徒会】

コロナ禍で条件も限られていたと思いますが、地元の中学生として何ができるのかを考えて行動したことは、とても素晴らしいと思いました。

企業と制作したベンチについて、どのようなものになっているかとても楽しみにしていましたが、デザインもさることながら、ベンチに込められた皆さんの思いと地元企業の思いが込められた素敵なベンチになったと思います。

これまでの活動では、防災や福祉をテーマにした、高齢者を対象にした活動が多い印象でしたが、今回は交通公園にベンチを設置するという事で、対象者が子どもにも広がり、活動の幅も広がったのではないかと思います。これからも、新しいアイデアで地域貢献を続けていただきたいです。

【燕中等教育学校サイエンス部】

今回も、とても魅力的なパンフレットになったと思います。審査員の方々からお話がありましたが、もしかすると小中学生には少し文章が難しいところがあるかもしれませんので、工夫して作成し、小中学校へ配付するだけでなく、構想にもあったように出前講座をやっていただき、新しい活動につなげてほしいです。

【燕東小学校 6学年】

CMの作成やプレゼンテーション、チラシ作りや缶バッジ制作、修学旅行先での発表など、本当にたくさんの活動をしました。今回の挑戦を通して、自分たちの街がいかに素晴らしいかということのを再認識できたのではないのでしょうか。

また、皆さんが色々なものを作ったという経験は、燕のものづくりの原点でもあるなと思います。今回、皆さんが行った1つ1つの活動に込めた思いや、協力してくれた地元の皆さんの思いを忘れずに、皆さんが大人になったら、皆さんの力で燕をさらに盛り上げて行ってほしいと思いました。

皆さんの発表を聞いて、どうすれば自分たちの企画ができるのか一生懸命考え、周りの人たちを巻き込んで活動することができていたので、とても素晴らしいと思います。

「羽ばたけつばくろ応援事業」は、主体的に判断したり、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成を目指している事業です。皆さんの活動はまさに目指している姿に近いものだと思います。一人の力では実現が難しいことでも、頑張ろうとする気持ちがあれば、周りの大人たちが皆さんの気持ちに答えようと真剣に協力してくれるということが表れている素晴らしい活動だったと思うので、今回の経験を忘れないでほしいと思います。

皆さんが大人になったら、全国または世界へ羽ばたいていくのではないかと想像しながら皆さんの発表を聞いていましたが、今回の経験を活かして、燕市の良さを色々なところで発信してほしいと思います。また、全国や世界へ羽ばたいていっても、燕市に戻ってきて地元で活躍してほしいと思います。

●鈴木 力燕市長による労いの言葉



羽ばたけつばくろ応援事業に挑戦してくれた皆さん、本当にお疲れさまでした。大変素晴らしいプレゼンテーションでした。
それぞれの団体が一生懸命企画し、実行し、それをまとめて発表してくれたことを実感しました。

各団体・個人への講評

【小池中学校生徒会】

小池中学校の皆さんは、先輩たちが続けてきた「糸半プロジェクト」を引き継ぎ、伝統を守りつつ自分たちの世代が何をやるべきかを考え、新しいことに挑戦しました。糸半プロジェクトが進化し続けていることを感じました。

これからも、後輩たちにバトンを繋いでいってほしいと思います。

今年度作成したベンチを設置する時には、是非セレモニーの実施を検討していきましょう。

【燕中等教育学校サイエンス部】

コロナ禍のため、サイエンス部の皆さんの活動を見る機会があまりありませんでしたが、今日の発表で、サイエンス部の皆さんの活動を見ることができて、とても嬉しく思いました。

現代では、自然について考えていくことは大事なテーマだと思うので、皆さんの活動を通して環境問題にも繋げていけると良いのではないかと思います。小中学校での出前授業だけでなく、道の駅国上などに設置してトレッキングに活用するなど、次の展開を期待しています。

【燕東小学校 6学年】

燕東小学校 6学年の皆さんは、先日開催された「令和4年度 燕の学校教育・研修成果等報告会」でも活動の発表をしてくれましたが、今日はその時とは違う構成で発表してくれたのですごいと思いました。

燕市役所が作成したPR動画は新潟ふるさとCM大賞で3位でしたが、皆さんが作った動画はそれの上に行く、最優秀賞を受賞できるのではないかと思います。

小学生の皆さんは、中学生や高校生の皆さんの発表を見てどのように思いましたか？ぜひ、皆さんが中学校に行っても、活動を続けていただきたいなと思います。小池中学校の皆さんが長年続けているような活動を、皆さんが燕中学校に進学したらやってくれることを期待しています。中学校で、皆さんが中心となって、燕東小学校以外の学校から来た人たちと一緒に、新たな活動に取り組むことを大いに期待しています。これからも頑張ってください。

中学生の皆さんも、高校生になってもこの「羽ばたけつばくろ応援事業」を利用して活動を行うことができます。学校単位でも個人でも活動できますので、今回の活動をここでやめずに、進学してからも色々なことに挑戦して、どんどん成長して、羽ばたいていってほしいと思います。

羽ばたけつばくろ応援事業に参加していただいた皆さんと、皆さんの活動に協力していただいた地域の方々や保護者の方々など、全ての皆さんに感謝を申し上げ、労いの言葉とさせていただきます。

本日は素晴らしい発表をありがとうございました。これからも頑張ってください。